

平成29年度進行管理・評価シート

亀山市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）

（最終変更 平成30年3月30日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

| | | |
|-------------------------|-------|-----|
| 1 「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置 | | 1・2 |
|-------------------------|-------|-----|

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

| | | |
|-------------------------|-------|---|
| 1 景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定 | | 3 |
|-------------------------|-------|---|

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

| | | |
|---------------------------|-------|-----|
| 1 東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠) | | 4 |
| 2 東海道街道環境整備事業(坂下宿) | | 5 |
| 3 東海道街道環境整備事業(太岡寺躰) | | 6 |
| 4 東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚) | | 7 |
| 5 「関の山車」会館整備事業 | | 8・9 |
| 6 歴史的風致形成建造物修理事業 | | 10 |
| 7 東海道関宿街道まつり | | 11 |
| 8 玉屋宿泊体験 | | 12 |
| 9 亀山市納涼大会 | | 13 |

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

| | | |
|-------------------------------|-------|-------|
| 1 歴史文化資産の調査・研究の充実と法令に基づく指定の推進 | | 14 |
| 2 保護事業の推進 | | 15・16 |
| 3 埋蔵文化財の保護 | | 17 |
| 4 文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進 | | 18・19 |
| 5 文化財と一体となっている周辺環境の整備 | | 20 |
| 6 市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進 | | 21・22 |

| | | |
|-------------------------|-------|-------|
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) | | 23・24 |
| ⑥その他(効果等)(様式1-6) | | |
| 歴史まちづくりの効果 | | 25 |
| □法定協議会等におけるコメントシート(様式4) | | 26 |

評価軸①-1
組織体制

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

| | |
|-----------------------|---|
| 「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
|-----------------------|---|

計画に記載している内容 全市をあげて歴史的風致の維持向上を図っていくために、「(仮称)亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置を行い、事業担当部署間の横断的調整及び庁内合意形成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内で実施される事業については、事業調整担当室(都市計画室・まちなみ文化財室)と事業実施室との間で、事業内容等について個別に調整を進めるとともに、事業調整担当室で進行管理を行った。

【事業担当室数(累計)】
 計画認定時(2室)→H21(6室)→H22(6室)→H23(8室)→H24(8室)→H25(8室)→H26(8室)→H27(8室)→H28(8室)→H29(8室)
 平成29年度は、担当室の名称及び数に変化はない。
 進行管理・評価については、事業調整担当室と事業実施室との間で協議した後、亀山市歴史的風致維持向上計画協議会において報告し意見聴取した。

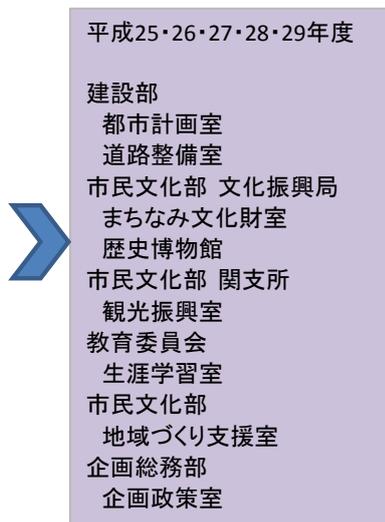
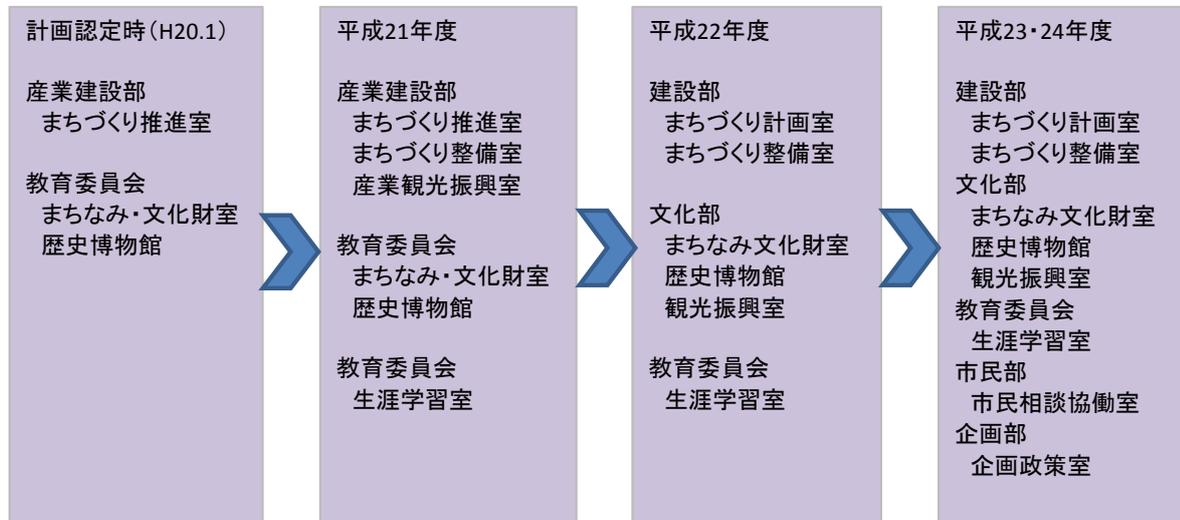
| | |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■歴史まちづくりへの全庁的な取り組み(事業担当室の推移)



■ 亀山市歴史まちづくり事業調整会議



【撮影：平成30年2月5日】

<開催日>

- ・平成29年4月12日(水)
- ・平成29年5月30日(火)
- ・平成29年8月28日(月)
- ・平成29年10月6日(金)
- ・平成29年11月24日(金)
- ・平成29年12月12日(火)
- ・平成30年1月30日(火)
- ・平成30年2月5日(月)
- ・平成30年2月9日(金)

<打合せの概要>

- ・進捗評価について
- ・平成29年度事業の進捗状況について

■ 東海道整備方針検討会

<目的>

地域の歴史、文化、自然等の資産を人々の活動の中で守り活かしていくことで、亀山市に交流の輪と一体感を醸成していくこと及び歴史的風致を後世に継承していくことを目的として、東海道の整備方針を策定する。

<開催日>

- ・平成30年2月27日(火)

<打合せの概要>

- ・路面美化化について
- ・散策休憩施設について

■ 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会(平成30年2月14日(水)開催)



【撮影：平成30年2月14日】

<協議会の概要>

- ・経過報告
- ・議事
歴史的風致形成建造物候補の指定について
進行管理・進捗評価・総括評価について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

| | | |
|----|--------|--------|
| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| | | 現在の状況 |

景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

本市では、平成23年6月に景観計画を策定し、市域全域を景観計画区域とした。景観計画区域のうち本計画に位置付けている重点区域については、景観形成推進地区及び景観重点地区の候補地とし、より積極的な景観形成基準等を定める地区とし、高さの規制を行う。さらに、景観形成推進地区及び景観重点地区において、良好な景観の形成が特に必要な地区は、地区住民の合意が得られるなどの条件が整い次第、景観地区や高度地区制度を活用する方針である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年9月1日より、亀山市景観計画に基づく届出事務を開始し、景観形成推進地区内では、23年度は4件、24年度は8件、25年度は4件、26年度は7件、27年度は13件、28年度は6件、29年度は17件(1月末現在)の景観届出を審査し、申請者とは意匠形態・色彩について詳細に協議を行った。これら市景観計画による景観誘導のほか、これまで不定期で実施してきた屋外広告物のパトロールを、平成24年4月から毎月実施することとし、良好な景観形成の推進に取り組んだ結果、環境美化が進んだ。また、重点区域内に2箇所指定した景観形成推進地区(亀山城下町、関宿周辺)に対し、景観計画の周知チラシを作成し周辺住民への周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

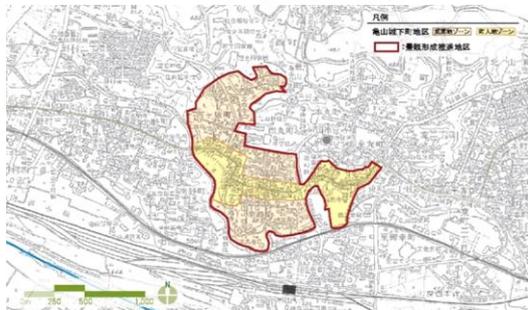
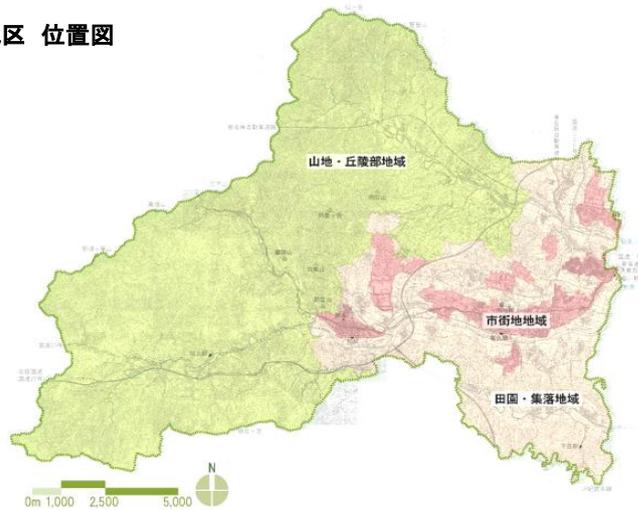
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

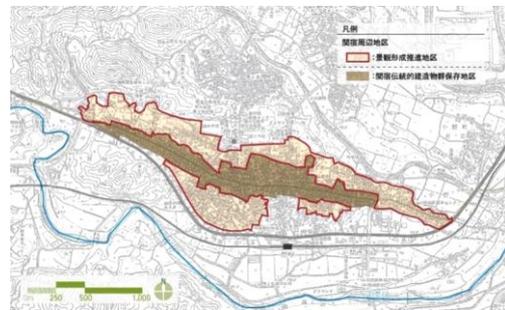
特になし

状況を示す写真や資料等

■景観形成推進地区 位置図



亀山城下町景観形成推進地区(上記地図の拡大)



関宿周辺景観形成推進地区(上記地図の拡大)

■屋外広告物撤去



撤去前
【撮影：平成30年2月】



撤去後
【撮影：平成30年2月】



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|---|--|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠) | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成27年度～平成32年度 | | |
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 東海道上の鈴鹿峠において、峠の茶屋跡・峠道など関連する遺跡を保存整備するとともに、案内標識・ベンチ・東屋等を設置して街道環境を整備する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| ・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催) ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。 ・昨年度の東海道整備方針検討会の結果を踏まえて計画を策定中である。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

■ 鈴鹿峠状況



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

東海道街道環境整備事業(坂下宿)
 実施済
 実施中
 未着手

事業期間 平成27年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 東海道上の坂下宿において、路面を美装化、案内標識・ベンチ・東屋を設置して街道環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催)
- ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。
- ・昨年度の東海道整備方針検討会の結果を踏まえて計画を策定中である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。

状況を示す写真や資料等

■坂下宿状況



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

東海道街道環境整備事業(太岡寺囃)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26～32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 東海道上の太岡寺囃において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋・植栽を設置し、街道環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

太岡寺囃全体整備延長約800mの内、歩道整備に係る盛土、法面整備工事を平成26年度は200m、平成27年度は240m、平成28年度に230m、平成29年度に145m行った(実施:国土交通省及び亀山市)。また、平成26年度に桜9本、平成27年度に桜10本、平成28年度に桜14本、平成29年度に桜38本を植樹した。さらに、地域住民による桜まつり等のイベント活動が5年連続で行われ、地域住民と散策者との交流が促進された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

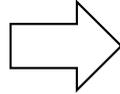
平成26年度に事業期間を変更し、歩道、植樹整備は計画的に進んでいる。路面美装化等については、検討を実施している。

状況を示す写真や資料等

■太岡寺囃整備状況



整備前【撮影：平成29年3月】



整備前状況【撮影：平成29年7月】



植樹作業状況【撮影：平成30年2月】

■地域コミュニティによる活動



神辺地区コミュニティによる桜まつりの実施 平成29年4月2日実施【撮影：平成29年4月】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| 項目 | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|---|---|--------|---|
| | | | 現在の状況 |
| 東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚) | | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
| 事業期間 | 平成26～32年度 | | |
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 東海道上の野村集落において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋を設置し、街道環境を整備する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| ・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催) ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。 ・昨年度の東海道整備方針検討会の結果を踏まえて計画を策定中である。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。 | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

■野村一里塚状況



■野村集落状況



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

「関の山車」会館整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成28～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

文化財としての山車を保管するとともに、見送り幕等の関連品や資料の保管、学習・展示、地元保存会や住民の寄り合いや山車の保存・伝承活動を行うため、「関の山車」会館として整備する。関宿伝統的建造物群保存地区内のメイン道路である旧東海道に面しており、保存地区の活用も図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・地域交流施設(山車収蔵展示棟)新築工事の実施設計を実施した。
- ・管理・展示棟(主屋)の実施設計及び監理に着手した(文化庁補助金)。
- ・第2次(通路部分)埋蔵文化財発掘調査を実施した。
- ・伝承活動棟(離れ)・展示棟(土蔵)の修理工事及び監理を実施した。
- ・展示設計に着手した(市単費)。
- ・管理・展示棟(主屋)の修理工事に着手予定(文化庁補助金)。
- ・地域交流施設(山車収蔵展示棟)新築工事に着手予定。
- ・地域文化財総合活性化事業 重伝建 亀山市関宿(地域活性化) 文化財建造物等を活用した地域活性化(伝統的建造物等) 活用事業(県補助金)を活用して亀山市立関小学校において児童を対象として、お囃子の体験学習を実施した。参加者:40名
- ・文化財保護事業による市指定有形民俗文化財「関の山車」に関連した文化財補助金の交付を行った。補助金交付件数:2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・計画どおり山車会館整備事業を実施している。引き続き、地域住民や保存団体等と連携し、会館整備と整備後の活動への機運を高める。

状況を示す写真や資料等

■整備事業



▲修理前の伝承活動棟(離れ)
【撮影:平成28年12月15日】



▲修理後の伝承活動棟(離れ)
【撮影:平成30年2月5日】



▲修理前の展示棟(土蔵)
【撮影:平成28年12月15日】



▲修理後の展示棟(土蔵)
【撮影:平成30年2月5日】

■関小学校においてお囃子の体験学習を実施
 (地域文化財総合活性化事業 重伝建 亀山市関宿(地域活性化) 文化財建造物等を活用した地域活性化(伝統的建造物等) 活用事業 県補助金)



■お囃子の体験学習



■文化財保護事業による「関の山車」に関する文化財の補助金の交付

- 文化財保護事業 木崎自治会
 - ・消防提灯新調



■消防提灯新調
 【撮影：平成29年7月】



■消防提灯新調
 【撮影：平成29年7月】

- 文化財保護事業 北裏自治会
 - ・丸提灯新調及び八寸箱提灯新調



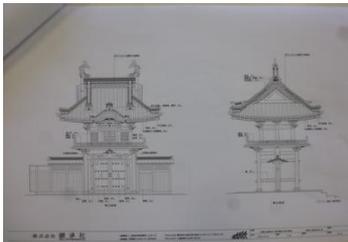
■丸提灯新調
 【撮影：平成29年7月】



■八寸箱提灯新調
 【撮影：平成29年7月】

| | | | |
|--|--|---|--------|
| | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 歴史的風致形成建造物修理事業 | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 | 平成26～29年度 | | |
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) | | |
| 計画に記載している内容 | 民間所有の歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、その修理に対し補助金を交付する。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| ・福泉寺山門(歴史的風致形成建造物・市指定有形文化財)の修理工事について、平成27年度に調査設計を完了した。修理工事についてH29年度(H28年度繰越)に実施している。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | | 特になし | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |

■福泉寺山門



福泉寺山門修理設計図面【撮影:平成28年3月】

・福泉寺楼門修理工事



■工事着工前【撮影:平成29年7月】



■工事完成【撮影:平成30年3月】

・福泉寺楼門修理工事現場見学会を実施(平成29年9月23日)



【撮影:平成29年9月23日】



【撮影:平成29年9月23日】

| 評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--|--------------------------------|---|--------|
| 項目 | | 現在の状況 | |
| 東海道関宿街道まつり | | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 | |
| 事業期間 昭和61年度～ | | | |
| 支援事業名 市単独事業 | | | |
| 計画に記載している内容 | 「関の山車」巡行。お囃子の発表。引き回しへの一般市民の参加。 | | |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で | | | |
| ・街道まつりで「関の山車」巡行等を行い、お囃子等の保存伝承活動を行った。 ・街道まつりへの参加来場者数:15,000人 ・江戸時代の伊勢亀山藩城主国替え行列の再現を行った。 | | | |
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 特になし | | |
| 状況を示す写真や資料等 | | | |
| <p>■東海道関宿街道まつり</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「関の山車」巡行【撮影:平成29年11月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>伊勢亀山藩城主国替え行列再現 【撮影:平成29年11月】</p> </div> </div> | | | |

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

玉屋宿泊体験

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成9年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区・関宿内にある関宿旅籠玉屋歴史資料館(市指定文化財建造物)において、小学校高学年を対象とした宿泊体験学習会。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定文化財建造物を会場として利用し、関宿のまちなみについて学習することにより、昔の人々の暮らしを理解し、参加した子どもたちの文化財保護意識の向上に資することができた。

主催: 亀山市子ども会育成者連絡協議会

参加者数: 19名

| | |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 特になし |

状況を示す写真や資料等

■玉屋宿泊体験



「玉屋」についての説明【撮影:平成29年8月】



関宿かるたウォークラリー【撮影:平成29年8月】

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成4年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統文化の発表「灯踊り」(灯おどり保存会)、「葛葉太鼓」(葛葉太鼓保存会)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・納涼大会への参加来場者数:12,000人
 ・多くの人々の前で演奏したり、市民が多数参加することにより、地域の伝統芸能を周知することができただけでなく、新たな担い手の育成が図られ、各保存会の活性化につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯踊り)



葛葉太鼓(葛葉太鼓保存会)【撮影:平成29年8月】



灯踊り(灯おどり保存会、市民総踊り)【撮影:平成29年8月】

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|----|--------|--------|
| | | 現在の状況 |

| | |
|-----------------------------|---|
| 歴史文化資産の調査・研究の充実と条例に基づく指定の推進 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
|-----------------------------|---|

計画に記載している内容 地域の貴重な歴史文化資産を発見し適切に保護できるよう、文化財の調査・研究の充実につとめ、特に重要な歴史文化資産については、条例にもとづく文化財としての指定を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・重点区域内において、文化財の指定を進めた。
 【重点区域内における文化財指定等された歴史的建造物の数】
 H20: 国登録(1件)・県指定(1件)・市指定(8件)→H21: 国登録1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(8件)→
 H22: 変更なし→H23: 変更なし→H24: 市指定1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(9件)→H25: 変更なし→H26:
 県指定(1件)→H27: 県指定(1件)→H28: 市指定(2件)→H29: 国登録(1件)・県指定(1件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

| | |
|--|------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 特になし |
|--|------|

状況を示す写真や資料等



国登録有形文化財 福德公民館
 (旧明村立明小学校福德分校)
 【撮影：平成29年8月】



三重県指定有形文化財(建造物) 宗徳寺層塔

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

保護事業の推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 歴史文化資産を適切に管理し、また積極的に保存・活用を図るためには、必要に応じて保護事業を進める必要がある(維持・管理、修理・修復、公有化等、防災)。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史まちづくり事業と連携して、文化財を適切に保存・活用するための事業を実施した。
- ・文化財の修理等に対する支援:市指定有形民俗文化財「山車」(木崎自治会)(北裏自治会)の付属品の修理。
- ・文化財防災のための訓練(国指定有形文化財(美術工芸品)木造阿弥陀如来立像が所在する慈恩寺における文化財防火デー防火訓練)
- ・文化財防火デーにあわせて、有形文化財所有者及び管理者に対し、文書で火災についての注意喚起と防火活動の啓発を行った。
- ・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各室に事業照会し文化財保護協議を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■文化財の修理等に対する支援

- 文化財保護事業 木崎自治会
 - ・消防提灯新調



■消防提灯新調
【撮影：平成29年7月】



■消防提灯新調
【撮影：平成29年7月】

- 文化財保護事業 北裏自治会
 - ・丸提灯新調及び八寸箱提灯新調



■丸提灯新調
【撮影：平成29年7月】



■八寸箱提灯新調
【撮影：平成29年7月】

■文化財防災のための訓練



文化財防火デー消防訓練（平成30年1月28日）
国指定有形文化財（美術工芸品）木造阿弥陀如来立像が所在する慈恩寺の境内において消防訓練を実施した。

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

| 項目 | 評価対象年度 |
|----|--------|
| | 平成29年度 |

| 現在の状況 |
|---|
| <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |

埋蔵文化財の保護

市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は、旧亀山市域で357遺跡、旧関町域で47遺跡あったが、平成17～20年度で、国庫補助事業により旧関町域において遺跡詳細分布調査事業を実施し、50遺跡を追加して454遺跡となった。

旧関町域については、近世の遺跡を含む周知の埋蔵文化財包蔵地の把握を行ったところであるが、旧亀山市域については近世の遺跡は「亀山城跡」など一部を把握するにとどまっており、今後現地踏査、文献史料調査等により確認を進め追加していく。

また、文化財の保存・活用に当たっては、当該文化財が所在する地点の埋蔵文化財の状況を把握した上で、その保護に十分留意するものとする。このことは、当該文化財の周辺に所在する、時代や性格等の上で一連の遺跡についても同様とする。

開発行為にあたっては、周知の埋蔵文化財包蔵地については試掘調査を実施したうえで、必要に応じて発掘調査を実施する。また、周知の埋蔵文化財包蔵地以外についても、開発担当部局、及び事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘調査を行うなど、開発行為と文化財保護との整合につとめる。協議にあたっては、三重県教育委員会との連絡調整を図るとともに、必要な指導を受ける。

なお、市内における周知の埋蔵文化財包蔵地については、各事業に関連した位置図中に示した。

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・埋蔵文化財の保護として、平成18年度から継続して鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施。平成26年度までの調査成果をまとめた調査報告書を平成27年度に作成・刊行した。引き続き、鈴鹿関跡の学術的価値を明らかにするために発掘調査や現地地形測量調査等を行う。これらの調査の成果をもって、国史跡指定を目指す。

現地測量調査面積：H18年度3,800㎡・H19年度6,000㎡・H21年度4,300㎡・H22年度5,200㎡・H23年度5,200㎡・H24年度9,000㎡・H25年度6,000㎡・H26年度6,000㎡・H28年度1,000㎡・H29年度400㎡

・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各室に事業照会し文化財保護協議を実施。

| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|
|----------------|--------------------------|

| | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 鈴鹿関西外郭線の範囲についてはほぼ確定してきた。今後、この西外郭線の範囲の国史跡指定のためには、確認されている遺構等の学術的価値を明らかにする必要がある。 |
|--|---|

状況を示す写真や資料等

■埋蔵文化財の保護

市公共事業(関の山車会館整備事業)に伴う埋蔵文化財(鈴鹿関跡)発掘調査



鈴鹿関跡発掘調査状況【亀山市関町木崎、撮影：平成29年8月】

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

有形・無形の文化財を、歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、相互に関連性のある一定のまとまり(「関連文化財群」としてとらえ、これらをつなぐ物語を創造する。これにより、より多くの人々が文化財の価値に気づき、資産として活用しやすくする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の価値を再認識するため、文化財を活用した普及啓発活動を行った。

- ・歴史博物館による市内小中学校等への出前展示等: 延11校
- ・旧亀山城多門櫓周辺の文化財説明会を開催: 随時

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■歴史博物館による市内小中学校及び地域への出前展示等



亀山市立亀山南小学校
6年生 出前授業
【撮影: 平成29年5月12日】



亀山市立関小学校
6年生 出前授業
【撮影: 平成29年5月19日】



亀山市立亀山中学校
全校 ミニ展示
【撮影: 平成29年6月17日】



亀山市立亀山東小学校
6年生 出前授業
【撮影: 平成29年7月10日】



亀山市立亀山南小学校
5・6年生 出前授業
【撮影: 平成29年8月9日】



亀山市立井田川小学校
3年生 出前授業
【撮影: 平成29年10月18日】



亀山市立亀山西小学校
歴史クラブ 出前授業
【撮影：平成29年10月30日】



亀山市立亀山西小学校
歴史クラブ フィールドワーク
【撮影：平成29年12月18日】



亀山市立亀山西小学校
3年生 出前授業
【撮影：平成30年1月12日】



亀山市立亀山西小学校
全校 移動博物館
【撮影：平成30年2月2日】



亀山市立井田川小学校
3年生 出前授業
【撮影：平成30年2月5日】

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

文化財と一体となっている周辺環境の整備

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

関連文化財群により、文化財等が一定の範囲に集中する場合には、文化財等と一体となって価値を成す周辺の環境まで含め、亀山市景観計画を通じ、文化財の周辺環境の保全を図る。見学者の利便とともに地域住民との交流が行えるよう、適切な場所を選んで駐車場や案内板・説明板、トイレ等を整備する。また、文化財がよりよく望むことができる眺望のポイントの整備や、文化財の周囲における官民両空間における景観整備などにより、文化財が周辺の環境と一体となっていることが意識されるよう努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市指定史跡文化財に説明板を設置(3ヶ所)

| | |
|--|--|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | これまでの事業で、歴史的風致拠点整備が完了しつつある状況である。今後は、それらを結ぶ面的な整備計画に取り掛かりたい。 |

状況を示す写真や資料等

■文化財説明看板設置

・亀山における谷口一族関連資料(本久寺)



■工事着工前【撮影：平成29年12月】



■工事完成【撮影：平成30年3月】

・亀山藩大庄屋打田権四郎昌克旧跡



■工事着工前【撮影：平成29年12月】



■工事完成【撮影：平成30年3月】

・亀山における谷口一族関連資料(照光寺)



■工事着工前【撮影：平成29年12月】



■工事完成【撮影：平成30年3月】

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

| | | |
|----|--------|--------|
| | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況 | |

| | |
|-----------------------------|---|
| 市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進 | <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手 |
|-----------------------------|---|

計画に記載している内容
 文化財の保存及び活用は、人々に文化財と触れる「きっかけ」や、文化財に関わる様々な活動の契機を提供することとなる。文化財の保存と活用を進めることにより、市民が文化財に触れる機会を充実するとともに、市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう、施策の展開を図っていく。また、文化財に触れる機会や、文化財を核としたまちづくり活動を介して、人々の交流が進められるよう積極的な施策の展開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財を核とした様々なまちづくり活動を実施した。
 ・市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント等の開催。
 ・地元住民が中心となって旧館家住宅と旧木村邸でひな飾りを展示した。開催期間：平成30年2月10日～平成30年3月4日
 来場者数：旧館家2,479名 旧木村邸6,358名
 ・重点区域内での様々なまちづくり活動の波及効果として、重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動が行われている。
 ・峯城跡(県指定史跡)保存会活動。
 ・金王道ウォーキング。開催日：平成29年5月20日参加者：50名 平成29年10月21日参加者：50名

| | |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

●市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント

■東海道のおひなさま(亀山市観光協会主催)



旧館家住宅(市指定建造物・歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となってひな飾りを展示【撮影：平成30年2月】



旧木村邸(歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となって雛飾りを展示【撮影：平成30年2月】

●重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動

■峯城跡保存会活動(峯城保存会)



峯城跡の地元住民が自主的に『峯城保存会』を立ち上げ、城跡への道の草刈りや城内の雑木の間伐を実施するなどして、峯城跡の歴史的環境の整備をできる範囲で実施。【撮影：平成29年10月】

■金王道ウォーキング(金王道ウォーキング実行委員会主催)



第21回金王道ウォーキング【撮影:平成29年5月20日】



第22回金王道ウォーキング【撮影:平成29年10月21日】

亀山市南部の屋生地区に残る、伝説の武将「渋谷金丸」が通ったと言われる道『金王道』を歴史ロマンに彩られた隠れ古道として顕彰し、後世に伝えるとともに屋生地区のまちづくり事業の一つとして、初夏と秋にウォーキングを実施。

| 評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道 | | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--------------------------------------|-------------|--------|--------|
| 報道等タイトル | 年月日 | 掲載紙等 | |
| 1.桜まつりにぎわう 亀山城で出店や写生大会 | 平成29年4月3日 | 伊勢新聞 | |
| 2.ひな飾りなど捉えた24点 亀山でサークル写真展 | 平成29年4月5日 | 伊勢新聞 | |
| 3.松井さん(昼生小2)金賞 亀山城桜まつり子ども写生大会 | 平成29年4月8日 | 中日新聞 | |
| 4.マンホールの絵柄カードに | 平成29年4月8日 | 中日新聞 | |
| 5.ハナショウブ美しく 亀山公園あす、まつりにどうぞ | 平成29年6月3日 | 中日新聞 | |
| 6.夏まつり | 平成29年7月7日 | 読売新聞 | |
| 7.中国茶に親しむ 亀山 | 平成29年7月9日 | 伊勢新聞 | |
| 8.探訪東海道百城 亀山城 | 平成29年7月9日 | 読売新聞 | |
| 9.天然記念物ネコギギ繁殖へ亀山市 鈴鹿享栄学園と協定 | 平成29年7月20日 | 中日新聞 | |
| 10.天然記念物ネコギギ保全 亀山市、鈴鹿享栄学園と飼育協定 | 平成29年7月20日 | 伊勢新聞 | |
| 11.ネコギギ保護へ飼育協定を締結 亀山市と鈴鹿享栄学園 | 平成29年7月20日 | 朝日新聞 | |
| 12.あすから関宿祇園夏まつり | 平成29年7月21日 | 中日新聞 | |
| 13.土器や埴輪60点 2000年前の亀山紹介 | 平成29年7月22日 | 読売新聞 | |
| 14.登録文化財に4件 文化審査申亀山・福徳公民館など | 平成29年7月22日 | 読売新聞 | |
| 15.舞台回し勢いよく 亀山関宿祇園夏まつり開幕 | 平成29年7月23日 | 中日新聞 | |
| 16.関の山車華麗に | 平成29年7月23日 | 中日新聞 | |
| 17.山車舞台回しに歓声 亀山300年続く「祇園夏祭り」 | 平成29年7月24日 | 伊勢新聞 | |
| 18.城郭城跡巡るスタンプラリー きょうからスタート | 平成29年8月1日 | 毎日新聞 | |
| 19.夏祭りの山車や浴衣姿の子写す 亀山でサークル展 | 平成29年8月2日 | 伊勢新聞 | |
| 20.灯おどりやステージ 亀山市納涼大会あす来てね | 平成29年8月4日 | 中日新聞 | |
| 21.納涼大会に1万2000人 亀山真夏の一夜楽しむ | 平成29年8月7日 | 伊勢新聞 | |
| 22.亀山城の隅櫓が台風で一部破損 しっくい塗り外壁 | 平成29年8月10日 | 毎日新聞 | |
| 23.文化財の外壁剥落 台風で「亀山城本丸東南隅櫓」 | 平成29年8月10日 | 伊勢新聞 | |
| 24.亀山城の外壁一部剥落 | 平成29年8月10日 | 中日新聞 | |
| 25.市内で発掘 土器展示 | 平成29年8月15日 | 中日新聞 | |
| 26.太鼓下げ供養踊り 小中学生も勇壮な舞 | 平成29年8月16日 | 伊勢新聞 | |
| 27.子ども勇壮な舞披露 亀山浄専寺300年続く「板屋かんこ踊り」 | 平成29年8月17日 | 伊勢新聞 | |
| 28.奥の細道異説紹介 亀山宿語り部の会研究発表、一般公開 | 平成29年8月18日 | 中日新聞 | |
| 29.高梁市と文化交流 亀山職員ら、岡山の祭りに参加 | 平成29年8月18日 | 伊勢新聞 | |
| 30.夏の夜空彩る1700発 亀山関宿納涼花火大会 | 平成29年8月21日 | 伊勢新聞 | |
| 31.なぜ亀山駅前に大きな鳥居？ 村社の県社昇格祝いに建立 | 平成29年8月30日 | 中日新聞 | |
| 32.国内外の102組が参加 亀山トリエンナーレ24日から | 平成29年9月1日 | 中日新聞 | |
| 33.「心形刀流武芸形」を披露 亀山で「赤心会」 | 平成29年9月4日 | 伊勢新聞 | |
| 34.縁深い伊勢亀山と備中松山 | 平成29年9月17日 | 伊勢新聞 | |
| 35.亀山トリエンナーレ24日開幕 作家の息吹街中に着々 | 平成29年9月20日 | 中日新聞 | |
| 36.亀山トリエンナーレ始まる 3年に1度の芸術祭 | 平成29年9月25日 | 伊勢新聞 | |
| 37.関宿街道を描こう 参加者募集亀山、あすスケッチコン | 平成29年9月30日 | 伊勢新聞 | |
| 38.伝達地区「関宿」を描く 亀山スケッチコン80人が挑戦 | 平成29年10月2日 | 伊勢新聞 | |
| 39.21日「道」テーマにサミット 亀山3団体が事例発表 | 平成29年10月5日 | 中日新聞 | |
| 40.大名行列や花魁道中 亀山来月5日関宿街道まつり | 平成29年10月14日 | 伊勢新聞 | |
| 41.傘鉾巡行で厄払い 亀山・忍山神社の保存会「伝統文化を次世代に」 | 平成29年10月15日 | 伊勢新聞 | |
| 42.歴史資産の継承語る 明和4県12市町「サミット」 | 平成29年10月19日 | 中日新聞 | |
| 43.歴史のまち亀山 カードで魅力発信 | 平成29年10月19日 | 中日新聞 | |
| 44.地域振興で意見交換 明和町でサミット「歴まちカード」誕生 | 平成29年10月19日 | 伊勢新聞 | |
| 45.関宿の祭りで歴まちカード 亀山市が配付 | 平成29年10月25日 | 読売新聞 | |
| 46.伝統ある街並み活用 大名行列や花魁道中 | 平成29年10月31日 | 産経新聞 | |
| 47.領地替えの実態資料で 伊勢亀山と備中松山 | 平成29年11月1日 | 中日新聞 | |
| 48.亀山の史跡や関宿見学 県自治会連が研修会 | 平成29年11月3日 | 伊勢新聞 | |
| 49.20年ぶり山車関の追分まで 5日、関宿街道まつり | 平成29年11月3日 | 中日新聞 | |
| 50.歴史スポットカードでPR 亀山市が作製し配布 | 平成29年11月3日 | 毎日新聞 | |
| 51.江戸時代にタイムスリップ 大名行列や花魁道中 亀山の関宿で街道祭り | 平成29年11月6日 | 伊勢新聞 | |
| 52.沿道に1万5000人関宿街道まつり 亀山 | 平成29年11月6日 | 毎日新聞 | |
| 53.観光客も山車引く 亀山にぎやか関宿街道まつり | 平成29年11月6日 | 中日新聞 | |
| 54.宿場で市民らオペラ楽しむ 亀山でコンサート | 平成29年12月17日 | 伊勢新聞 | |
| 55.ネコギギの繁殖成功 天然記念物保護 亀山市・鈴鹿高生タッグ | 平成29年12月22日 | 朝日新聞 | |
| 56.「関宿」で火災特別警戒 | 平成29年12月26日 | 伊勢新聞 | |
| 57.3年に一度の獅子舞 亀山野尻自治会が布気神社で奉納 | 平成30年1月3日 | 伊勢新聞 | |
| 58.3年に一度の獅子舞 亀山・布気 | 平成30年1月4日 | 読売新聞 | |
| 59.心鍛える剣術 次代へ | 平成30年1月8日 | 読売新聞 | |
| 60.鈴鹿高生繁殖に成功 国天然記念物の淡水魚「ネコギギ」 | 平成30年1月11日 | 中日新聞 | |
| 61.亀山の慈恩寺で消防訓練 国重文「木造阿彌陀如来立像」守れ | 平成29年1月29日 | 伊勢新聞 | |
| 62.高山さん大賞作品も 亀山の百五銀 関宿スケッチコン展 | 平成30年2月2日 | 伊勢新聞 | |

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり事業において修理した歴史的建造物を積極的に活用しており、その事例が新聞等で報道された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

特になし

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成29年度

項目

歴史まちづくりの効果

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移
 亀山城多門櫓を軸とし、亀山城周辺の施設等の面的な整備を行ったことにより、公開施設の回遊性が向上し、来場者数の増加に繋がった。
 ・住民意識の向上(アンケート結果による)
 東海道関宿のまちなみ保存とともに亀山城周辺の施設整備を行ったことにより、まちなみ保存に対する住民意識が向上し、観光地としての魅力が高まりつつある。

進捗状況 ※計画年次との対応

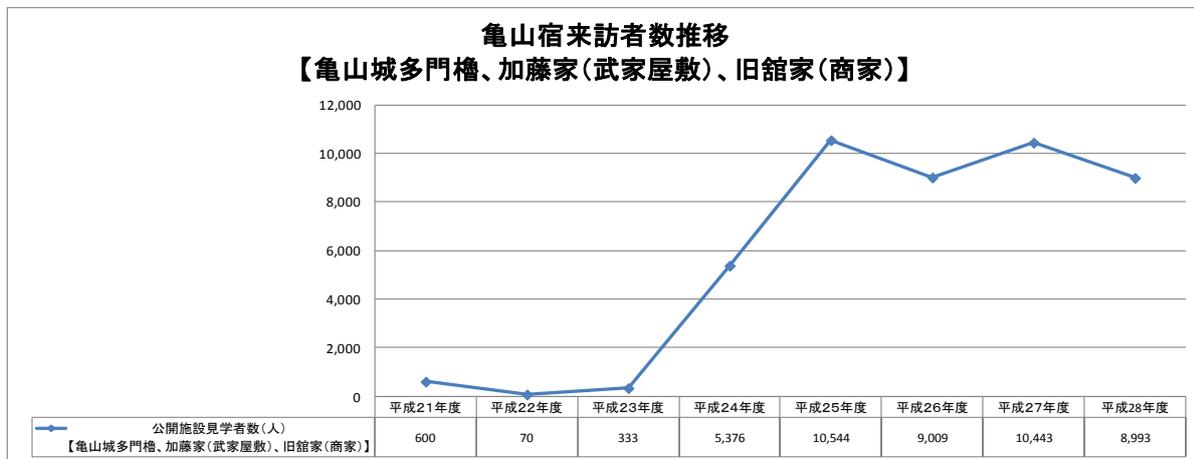
実施にあたっての課題(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

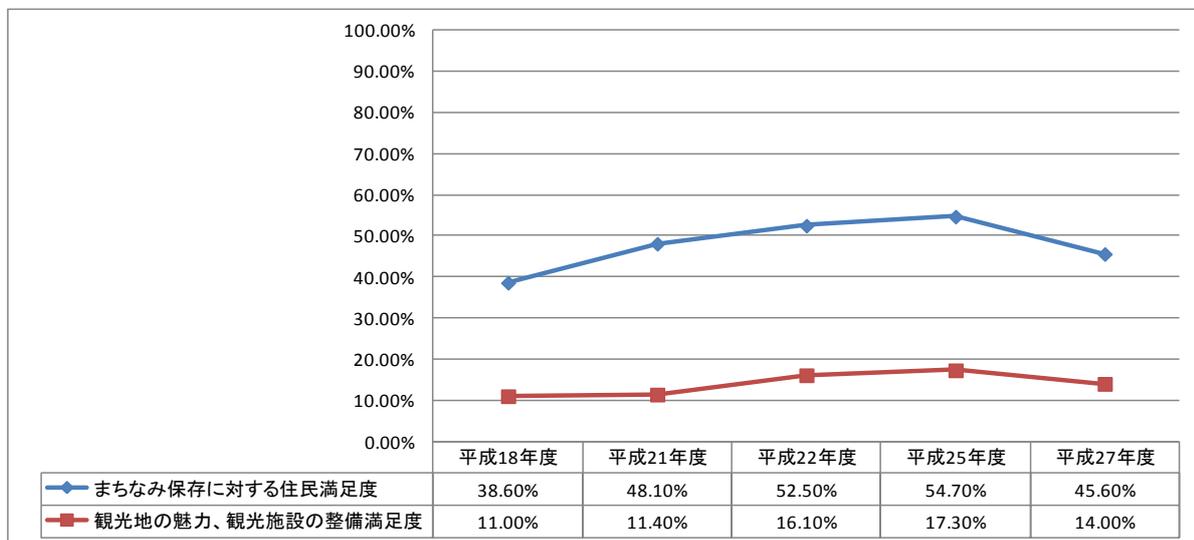
特になし

状況を示す写真や資料等

■亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移



■住民意識の向上(アンケート結果による)



| | |
|--|--------|
| 評価対象年度 | 平成29年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント | |
| コメントが出された会議等の名称: 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会 | |
| 会議等の開催日時: 平成30年2月14日 | |
| (コメントの概要) | |
| <p>●協議会議事</p> <p>(1)歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について</p> <p>(2)歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について</p> <p>(全体意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業について、全て計画どおり進捗しており施設の活用や情報発信も盛んであることが評価できる。 ・事業を通じて、市民の歴史文化の意識が醸成していくよう努力されたい。 <p>(個別意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる整備済みの歴史的建造物等の活用や地域の連携を図られたい。 ・亀山市の歴史的風致の軸である東海道の整備方針について、過去の整備手法等も鑑み、検討されたい。 ・関の山車会館について、関宿の新たな拠点となる施設であることから、十分に活用の検討をされたい。 | |
| (今後の対応方針) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・整備済みの活用施設及び今後の整備予定の施設について、市民や地域を巻き込んだ活用を実施することで、更なる市民の歴史文化への意識が向上するよう努めたい。 ・現状の東海道を評価したうえで、亀山市の歴史的風致の軸として相応しい整備の方針を検討したい。 | |